

# 県立近代美術館の移転・新築

## 県民的な議論と

### もっと丁寧な検討作業が必要



#### 日本共産党・ひづめ弘子県議

9月定例県議会の予算特別委員会で、ひづめ県議は ①TPP交渉と米価暴落、②ブラック企業対策、③県立近代美術館、④富岩運河の整備促進、⑤県民の暮らしの厳しさと税金差し押さえ、⑥災害時避難支援者リストと防災訓練、について質問しました。



9/24 予算特別委員会で

耐震化が検討されていた近代美術館。5月末になって、移転のための検討会が設置され、8月末には「富石運河環水公園に移転・新築」の報告案がまとめられました。建設予算は約70億円（知事の記者会見）とされ、安倍内閣の経済対策のための交付金が使われる予定です。

3カ月での「提言」は拙速ではないのか

県民の意見を聞くパブリックコメントも、わずか2週間でした。ひづめ県議は、「もっと時間もかけた、丁寧な検討作業が必要だったので」「検討委員会には、富山市からの参加も必要だったのでないか」と、石井知事に直接質問。

知事は、新幹線開業対策や、安倍内閣の経済対策のための交付金活用期限などをあげて言い訳。同時に、「これからも、県民、市町村、県議会の意見を十分聞いて検討する」と答えました。

瀧口修造氏の業績を県民に普及する努力を

富山市出身の詩人・美術評論家である瀧口修造氏（1903〜1979）は、戦後日本の近代美術・芸術の発展に、大きな影響を与えました。県立近代美術館の「生みの親」とも言われ、瀧口修造コーナーが常設されています。



県立近代美術館（富山市西中野）

○：県立近代美術館の移転新築に関する議論の進め方を取り上げた火爪氏は「丁寧な作業が必要だった」と強調。この件で、石井知事と森雅志富山市長との間がぎくしゃくしていることに触れて「市の意見ももっと丁寧な面がある」と指摘したのに加え、「暴走だ」との声も紹介した。これに対し、「今までに何度かお話ししましたが」と切り出した石井知事は経緯などを「丁寧」に説明。誰に向けたのか分からないような「自分の意見があれば、（直接）言えはいい」といったフレーズも交えた10分超の答弁

で、火爪氏は予定していた質問を飛ばすために。共産党寄り？ ○：環太平洋連携協定（TPP）交渉に関連し、漁業への補助金の必要性を指摘した高野氏。直前に質問に立った火爪氏も同趣旨の発言をしたこと、火爪氏というより、理詰めです。手に質問されたところを置き、た上で「質問が同じ」ということは、火爪さんが自民党寄りになったのか、それとも私が共産党寄りになったのか、と語り、委員から笑いが。TPP交渉は厳しい折衝が予想されるだけに、国益を守るためには「超党派」とばかり。

9/25 「富山新聞」より

## TPP交渉からは離脱すべき

### 秘密交渉は重大、「農業5品目」さえ守れない

農産物の重要5品目（コメ、麦、牛肉、豚肉など）は交渉の「聖域」とし、できなければ交渉から脱退するというのが自民党の公約です。ところが、一部に関税撤廃の対象として検討するなど、この公約さえ裏切る政府・自民党の動きが進んでいます。

秘密保持協定によって国民には何も知らされていない

TPP交渉参加国は、交渉中はもちろん、TPP発効後4年間は交渉内容を公表してはならないという「秘密保持協定」を結んでいます。政府は、これをタテに、交渉内容を国民に知らせないまま、「年内大筋合意」をめざすなどとしています。

アメリカなどが漁業補助金の廃止も要求

漁港整備や漁船、燃油などに対する政府の補助金が、農業補助金です。WTO協定でも合意されなかったこの補助金廃止を、TPPに持ち込もうという動きがあります。ひづめ県議は、漁業補助金の重要性を強調。この点からも、TPPの危険を指摘しました。

## 9/30 本会議 「TPP交渉に関する意見書」 全会一致で可決

農民運動富山県連合会の請願を受けて、日本共産党が提案した意見書。自民党と協議のうえ文言を一部修正し、本会議で可決しました。

意見書は「交渉の中味を国民に開示すること」「重要5品目等の聖域が確保できない場合は、交渉からの脱退も辞さないこと」などを求めており、関係者から歓迎の声が寄せられています。



10/14 「ストップ TPP in とやま」集会 JA 中央会会長ら6氏がよびかけ、「食糧と健康を守る県連絡会」が主催



日本共産党 2013年10・11月 ひづめ弘子 県議会報告 No. 40 発行/日本共産党富山県議団 〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12 電話(076)432-8383 FAX(076)442-1220 Eメール/hiroko.jcp@sand.ocn.ne.jp

●ご意見、ご要望を何でもお寄せ下さい。

